



多文化共生時代の福祉を考える

# こころの家族

## No.362

2025年3・4月

2月20日、共生園を訪れた水嶋光一駐大韓民国日本国特命全権大使と令夫人麻子様(子供達の後ろの列、右から3・4人目。その左に田内基、田内文枝、そして川瀬和広駐韓日本国広報文化院長)



### 両手を携え より良い未来へ

今日は我々ソウルから来ました日本大使館の一員をこんなに温かくお迎えいただき、ありがとうございます。田内基名誉会長、それから田内文枝理事長、そのほかこんなに多くの方々にお迎えいただけると思っていませんでしたし、着いた時に寒い中で多くの方にお出迎えいただき、またこんなにきれいな折り鶴のレイまでいただき、本当にありがとうございます。

実は私は韓国に勤務するのは2回目です。前回勤務した時は残念ながら木浦におじゃまする機会がなかったのですが、今回は是非、木浦に早く行きたいということをお願いをして、今日訪問させていただきました。

先ほど理事長のご挨拶の中に、共生園の方や木浦の皆さんに母親のような気持ちでお迎えをしていただくというお話がありましたが、もうすでにそういう気持ちでいっぱいです。

私は外交という仕事に携わっていますけれども、国と国の関係はすべて人と人との関係だというふうに思っております。そこには難しい話はないのです。本当にお互いがお互いのことを思って、信頼できて、友情を育むということが私はできると思っておりますし、そういうような姿をずっと体現してこられたのが、まさに田内千鶴子さんが始められ、今に引き継がれている共生園だと思っております。

この共生園は、卒業して行った子どもたちが合計で4千人ぐらいいらっしゃるとお聞きしました。その4千人というのは、本当に日本と韓国、双方の温かい心で育まれて巣立っていった人たちだと思えます。国境なんか関係なく、お互いのいいところを見ながら未来に向けて、日本と韓国との関係をリードしていただけるような、そういう子どもたちであって欲しいと思いますし、私は共生園がずっとそういう役割を果たしていただけるものだというふうに期待して、また感謝をしております。

2025年2月20日

駐大韓民国日本国特命全権大使 水嶋光一

今月のコラムは共生園を訪ねた駐韓日本大使水嶋光一様のご挨拶を紹介させて頂きます。

社会福祉法人こころの家族  
尹基 (Tauchi Moto)

# 吉田太郎さん「優秀賞」に輝く

「東京の介護つてすばらしいグランプリ」

昨年9月、故郷の家・東京の掲示板やエレベーターの中



に、こんなポスターが張り出されました。東京都社会福祉協議会、東京都高齢者福祉施設協議会主催の『東京の介護つてすばらしいグランプリ2024』の公募です。

「動画」「写真」「コラム」「レシビ」と4部門あり、行事担当職員の吉田



太郎さんが「写真部門」に応募した「ファッションショー・喜びのランウェイ」が見事「優秀賞」に輝きました。満面に笑みをたたえて踊るのは鳥塚美代子さん。手をたたき盛り上げてくだ

さっているのは東京オンヌリ教会の面々。

このファッションショーは施設恒例行事で、毎年「敬老の日」に東京オンヌリ教会の美容師さんたちを含む有志の方々が、お化粧品や着付けを担当し、お年寄りがレッドカーペットを練り歩く、という催しです。

## 「神代桜」寄贈で植樹祭を開催

故郷の家・東京が建つ塩浜一丁目町会さまから「ぎくら



実は、鳥塚美代子さんはショートステイのご利用者。ホールからのにぎやかな声に誘われて飛び入り参加、「一番の化粧品は笑顔」の名言を実証。この賞の受賞を一番に喜んでくださいました。吉田さん、おめでとう！（公募ポスターを掲示した施設長・記）

寄贈」の申し入れがあり、2月22日「植樹祭」が開催されました。

町会長、江東区議会議員さまの参席のもと、多胡理事の祈りの言葉から始まり、入居

者さん13名も参加し、代表の徳山正基さん（写真左下）の謝辞にて苗木が施設の南中庭にすくつと立ちました。

徳山さんは謝辞の中で「本日寄贈頂いたこの『神代桜（じんだいさくら）』は、樹齢2000年とも言われ、日本三大桜の一つとされているそうです。2000年とは、人間にとつて途方もない数字ですが人類が発生して数百万年に及ぶ長大な歴史ではたった2000年です。



私は今89才、これから何回この桜の花を愛でる事ができるか分かりませんが、この『じんだいさくら』が、塩浜の故郷の家の一角でお年寄りたちを見守り、そして、地域のみなさまを見守り、10年後20年後になっても、春に愛でる桜があるこの施設に、この地域に潤いと安らぎを与えてくれることとでしよう」と述べました。

お詫びと訂正 前号3ページ「田内千鶴子生誕112周年 献花式と偲ぶ会を高知で開催」記事と写真説明において、寺尾晴邦さんを「田内千鶴子愛の会事務局長」としましたが、誤りでした。寺尾晴邦さんは同会副会長であり、寺田静代会長が事務局長を兼任されています。お詫びとともに訂正いたします。

## 田内千鶴子オモニの思い出 ムン・ヤンオク

私は汝矣島<sup>ヨイド</sup>純福音教会のムン・ヤンオク勸士(83歳)です。71年前に木浦共生園から中学校に通いました。当時は朝鮮戦争後の非常に大変な時期で、先生も多くはいませんでしたが、共生園に9つの班がありました。乳児班、幼児班、男子初級班、女子初級班、中級班、上級班、学生班、建設班です。女子初級班は私が担当し、中学1年の時から22人の子どもたちの面倒を見ながら子ども時代を過ごしました。洗濯をしたり、服を着せたり、勉強を教えたりもしました。

今、社会生活をしながら、私は一番に神様に感謝し、その次に田内千鶴子オモニと共生園に感謝いたします。オモニは実の子よりも孤児たちを愛しました。幼児班の子どもが痩せ細り、栄養失調でお腹だけが膨らんでいるのに、ご飯の量が少なくと食わずに、泣きながらご飯を放り投げてしまい、部屋を汚してしまったことがあります。誤った行動を正そうと、その子を一発叩いたものの、自分も悲しくて泣いてしまい、後悔したことがあります。そのことをオモニが知り、そんなことをしてはいけないと叱られました。その子には今でも申し訳なく、詫びたい気持ちです。

他にもオモニに申し訳なく思った事件がありました。オモニが三日熱マラリアにかかった時、共生園のみんなでお金を集めて、オモニに漢方薬を飲んでもらおうとしたのですが、買いに行つた子がこっそり飲んでしまい、私がひどく怒ったことがあります。その時オモニは私を叱り、声を潤ませながら、薬を飲んでしまった子には「よくやった、よくやった。私が薬を買ってやれないから、これを飲んで元気になるんだよ」と慰めたのです。子どもだった私には、その時までオモニを理解することができませんでした。

オモニのことを考え直すようになったきっかけは、オモニにお使いを頼

まれて牧場の喫茶店に行つた時でした。そこでオモニは共生園の子どもたちのために二人の男に頭を下げて頼み込んでいました。「子どもたちの食べるものがないんです。助けてください。今でないとだめなんです」と涙声で話していました。その姿を見て、私はもう勉強はいいから、早く社会に出てお金を稼いで、オモニと共生園を助けようと決心しました。

共生園で学んだことが私の人生に大きな影響を与えてくれました。共生園で団体生活や信仰生活を学び、互いに愛することや助けることも学びました。社会に出て活動してみると、こうした学びはすべて神様の恵みだと思えます。共生園からの恵みです。私は中学しか出ていませんが、コンピューターやインターネットを一生懸命学んで、汝矣島純福音教会の文書宣教会で33年にわたって活動しており、今でも多くの方々と一緒に祈っています。

共生園で学んだ愛と信仰を糧に、私は社会に出て成功することができました。年齢も83歳になり、自分がどれだけ恵まれた存在か分かっていきます。共生園で暮らした3000人の共生家族が社会において一人も驕ぎを起すことなく、しっかりと生きていくことも本当に有難いことです。

現在も私は毎朝祈り、聖書の教えを分かち合いながら暮らしています。そして神様が人生を導いてくださることに感謝しています。また、私を招待してくださった尹基会長にも感謝いたします。至らない私がこの場に立てたことも神様の恵みと皆様の愛のおかげです。

ご清聴ありがとうございました。

(10月30日木浦で開かれた「田内千鶴子生誕112周年記念共生家族の会」にて)



ムン・ヤンオク(文良玉)さんは1941年生まれ、83歳。1954年〜1958年(13歳〜17歳)を共生園で過ごされました。夫とともに不動産業を、また美容室を経営、現在は主婦。ヨイド純福音教会では40年長の信徒で現在、同教会勸士。実業人連合会文書宣教会会長。

## 職員さん 登場

(24)

真野デイサービスセンター  
管理者 瀬戸美帆さん

故郷の家・神戸デイサービス  
生活相談員 塚本祐子さん

就職しバスガイドとして活躍。神戸を始め京都や奈良など関西の観光地を巡るガイドをしていました。

### 経営者に なりたかった瀬戸さん

子どもの頃から「20歳になったら、雇われる人ではなく経営者になりたい」と夢を持っていた瀬戸さんは2年でバス会社を辞め、神戸の三宮の一等地にスナックを開店。人も雇い繁盛店に。26歳で子どもを授かったことで子育てに専念したいと潔くお店を閉店。出産前の貴重な時間に資格を取得しよう、と介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)を取得しました。

昨年4月、故郷の家・神戸の真野デイサービスセンターの管理者に就任した瀬戸美帆さん。バスガイドを経て、お店経営、そして福祉の世界に飛び込んだ異色の経歴の持ち主です。持ち前のバイタリティと笑顔と笑い声でデイサービスの空気をいっぺんに明るくしています。10年前、故郷の家の職員になった翌年に瀬戸さんは高校時代からの友人・塚本祐子さんを誘います。そして塚本さんは今、故郷の家・神戸デイサービスの生活相談員で、入職9年目を迎えます。2人とも高いコミュニケーション能力でご利用者を楽しませ、深い連携で仕事に取り組んでいます。

\*

瀬戸さんは長田区生まれ。高校卒業後、帝産観光バスに

は故郷の家・神戸のデイ



瀬戸美帆さん(右)と塚本祐子さん(左)  
故郷の家・神戸で。

サービスのご利用者でした。当時、職員だった藤原一臣さん(現・故郷の家京都施設長)は瀬戸さんが初任者研修を取得したことを聞きつけ、母・今里幸恵さんを通して「うちで働いてみませんか？」と声をかけました。子育てに忙しくしていたために働く気持ちはないまま面接に。福祉の世界にはそぐわないと思いつつから金髪に染めたままでした。

ところが、面接をした朴正米施設長は「それがあなたの個性だからそのままがいいのよ」と。その言葉にびっくりに「ここで働きたい!」と故郷の家の一員となりました。入職後7年で介護福祉士の資格を取得。3年前、生活相談員として真野デイサービスに異動。昨年4月、管理者に。

### 仕事の楽しさに 魅せられた塚本さん

入職1年後、瀬戸さんは高校の同級生で、子育てのアドバイスをもらうなど親しくしていた塚本さんに故郷の家・神戸を紹介しました。塚本さんも福祉の仕事はしたことがなく、子育てに追われる日々だったので働く気持ちはなく「すぐに辞める」と思いながら仕事を始めると意外にも「ご利用者さんと過ごすのが楽しくて楽しくて」あつという間に9年が経ちました。

2年前に介護福祉士を取得。故郷の家で実施している音楽療法ブレンメソッドの指導資格も取得しました。昨年5月、デイサービスの生活相談員になり活躍しています。

瀬戸さんは「利用者様にも職員にも上司にも恵まれて本

当に感謝しています。故郷の家は働きやすい環境だと思えます。朴施設長は職員を思いやってくれる最高の施設長」と。さらに瀬戸さんは「管理者として真野デイサービスをしっかりと引つ張っていき風通しの良い職場に、そして職員が長く続き、利用者様が長く来てもらえるようにサービスしていきます」と、話します。

塚本さんは「ご利用者との会話をしているときが一番うれしい時。ご利用者さんをもっと外に連れて行きたい」と。そして2人とも「今はこの仕事为天職!」と、声をそろえとびきりの笑顔を見せてくれました。

生活相談員は、老人ホームなどに入所している高齢者などのさまざまな相談や援助にあたりたり、援助計画の立案や実施にあたります。生活相談員になるには社会福祉士やケアマネジャーの資格が必要です。

故郷の家ではさまざまな職種でたくさんの人々が働いています。ご興味のある方はこのころの家族法人本部まで(12ページ参照)

# 「共感の力」 日本語版を出版



韓国で出版された「共感の力」日本語版

本書が、こころの家族推薦図書として出版された。

コロナ禍の韓国、病院や介護施設も混乱に陥った。社会的弱者たちほど状況は深刻。だが、社会福祉士たちはこの困難を耐え抜き、利用者に寄り添い、パンデミックを克服していった。そこにあるのは「共感の力」によるものだった。

社会福祉学者である著者のヤン・オッキョン(梁玉京)さんはさまざまな角度から「共感」について考察しつつ、社会福祉士たちの声を聞き、共感の力を再確認する。「どんなに困難な状況でも、私たちの社会が住む価値があると見える理由は、まさにこの共感の力によるものです」(日本の読者へ)からと。B6判208ページ。定価1265円(税込)



## 豆腐のジョン

故郷の家・神戸 管理栄養士  
一ノ瀬 有紗

今回は『豆腐のジョン』を紹介します。ジョンは素材を玉子につけて焼く韓国の伝統料理です。簡単で気軽に作ることができ、ヘルシーでおかずの一品にもなります。



### 材料 (4人分)

- 木綿豆腐 …………… 1丁
- 塩 …………… 少々
- 小麦粉 …………… 適量
- 卵 …………… 2個
- サラダ油 …………… 各少々
- すりおろしにんにく… 少々
- 醤油 …………… 少々

### 作り方

- ①豆腐は縦に5mm厚さに切る
- ②豆腐をキッチンペーパーに包み水をきる
- ③塩をふる
- ④卵に塩とすりおろしにんにくを入れてよくかき混ぜる
- ⑤小麦粉、卵の順で衣をつける
- ⑥油をひいたフライパンで両面を焼く

※お好みでしょう油をつけて召し上がってください。



介護予防やリハビリに!

## ワンポイント体操

故郷の家 機能訓練士 中橋 学

### 腰の筋力トレーニング

腰痛の原因として過度な運動、疲労の蓄積、姿勢の悪さなど様々な原因で腰を痛める場合がありますが、その中でも腰部の筋力が弱いことで腰に負担がかかりやすく、痛める場合があるので今回は腰部の筋力トレーニングをお伝えします。

#### 大腿部の筋力トレーニング1

- ①横向きで支えを持ち、背筋を伸ばす。
- ②片足ずつ大きく円を描くように足を回す。(前から後ろへ回す)
- ③左右の足10回ずつ行う



#### 大腿部の筋力トレーニング2

- ①横向きで支えを持ち、背筋を伸ばす。
- ②片足ずつ膝で円を描くように股関節を回す。
- ③内・外回し5回ずつ行う(両足で合計20回)

#### 腰部の筋力トレーニング

- ①座り姿勢で両腕を胸の前で組む
- ②息を吐きながら身体を前に5秒かけて倒し、息を吸いながら5秒かけて戻す。(腹筋に力を入れながら)  
※5回おこなう
- ③息を吐きながら身体を右に5秒かけて倒し、息を吸いながら5秒かけて戻す。  
(左も同じ)  
※左右5回ずつ行う



# 追悼 河幹夫さんを偲ぶ

思いをつくして 社会のために働き  
力をつくして 隣人を愛し  
心をつくして 教会に奉仕し  
福音の光に照らされて、誠実に人生を歩まれた  
幹夫さんに神の栄光あれ！  
心温まる友情に感謝して

神奈川県立保健福祉大学名誉学長 阿部志郎

## 河正子夫人の告別式でのご挨拶

主人の人生は青年時代からのキリスト教信仰を根として、よき師、先輩、同僚、後輩、教え子等、多くの方々に育てられ、守られ、実を結んだ幸せなものでありました。  
家族から見れば弱さも至らなさも数々ありましたが、ただ、信仰と自分の務めへの誠実さには一点の曇りもなかったと思います。今73年の生涯の全てを神様にお返しして、御許で安らいでいることでしょう。(抜粋)

## 今は重い荷物を下ろして

社会福祉法人こころの家族理事長 尹基(田内基)

河幹夫先生をはじめに紹介してくださったのは、秋津療育園設立者の草野熊吉先生でした。1984年頃だから40年前のことです。しばらくして阿部志郎先生、神戸の土井隆一衆議院議員からも、紹介されて驚きました。日本の聖者のような3人の先生たちから認められているのは、行動する信仰を持つている証でした。

ある日、河先生から電話がかかってきました。「私たち厚生省は戦後から今まで差別を無くそうと頑張りましたが、差別が増えてるんです。社会福祉のあり方検討委員会に尹さんも加わって一緒に考えましょう。尹さんが好きな吉村敏生理事長も委員です」

河先生の言葉に、熱い思いが感じられました。退職後は神奈川県立保健福祉大学教授に就任、故郷の家・京都に学生たちを連れて来て写真を撮ったり、一人一人を家族のように大切にしてお話をし、食事しながら参考になる話をしておられ、それは優しい父のような教授の姿でした。

念願の故郷の家・東京ができた時、こころの家族評議員会では河幹夫先生を副理事長にと、決議しました。河先生は喜んで引き受け、報酬はボランティアでした。「社会福祉法人における外国人専門職の養成・定着プロジェクト」の委員長を務め、それは良い記録になりました。先生にお世話になったことが多いですが、もうあの重い荷物―差別のない日本社会作りの使命を下ろして、リラックスして下さい。復活の朝に天国で会えるように私も祈ります。



河 幹夫 (かわ みきお)

1951年9月東京都生まれ。中学生のとき、マクルキン宣教師館の英語クラスに参加。70年東京大学文科1類入学。同年5月、和泉福音教会にて受洗。また、大学内の点字サークル(点友会)の活動を始める。75年大学卒業後、厚生省入省。この年10月、点友会で知り合った正子さん(現・NPO 法人 緩和ケアサポートグループ代表)と結婚、78年には長男義清さんを授かった。

厚生省では 社会保障関連の各局、厚生労働省参事官、内閣官房・内閣審議官などを歴任。07年に厚生省退職後、17年まで神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部教授。同年、社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センター理事長就任。また、社会福祉法人こころの家族副理事長などを務めた。2025年1月10日召天。享年73歳。



昼食を楽しむ河幹夫さん(左端)。田内文枝総括理事、田内基理事長、阿部志郎さんとともに(2016年)

## 前に向かって走る人

和泉福音教会牧師 青木義紀

河さんはいろんなところに文章を寄せておられますが、くり返し主張しておられることは、「今、ここ」における目の前の一人と向き合い、その一人一人がどうやって一人の人間として生きる事ができるかということでした。一人の人の権利が守られ、生活が守られ、いかにいのちが守られるかということでした。しかもそれが、単なる個人の善行や親切の域を越えて、より大きな世界で、社会や国家としてすべての人に行き渡るかということを考えて来られました。

『福音と世界』(新教出版社)2016年11月号に河さんが寄せた文章の中に、次のような一節があります。

ルカによる福音書10章には、傷を負った旅人に近寄って助け起こし、介抱して宿屋に連れて行く「良きサマリヤ人」の姿が記されているが、この技(ヒューマン・サービス)を職業として成立させるためにはどのような社会制度を構築する必要があるのか。

ここには、社会や福祉といったものが、一時的なものとして終わってしまいがけないように、またサービスを提供する側の都合や事情で、サービスを受ける側に支障をきたすことがないように、持続的なサービスの提供を実現できる社会制度の構築を求める視点があります。ここに、河さんが主張してきた福祉のあり方が凝縮されて

## 河幹夫さんの思い出

和泉福音教会員 坂井田廣子

河君はいつでも、弱い立場の人を大事にし、寄りそう方でした。その思いが、厚生労働省の働きで十分に果たされたと思います。

そして、どんなに忙しくても礼拝を守り、しばしば、永田町から和泉の礼拝に駆けつけて来られました。そして一番前の席で、疲れのために、よく居眠りもして居られました。

マクルキン先生の時代から、専ら高校の教室時代も、また礼拝堂が出来てからも、ずっと礼拝後は、皆で、昼食を共にしました。その時、必ず、河君が、大きな声で、食前の祈りを祈るのが定番でした。そして、しばしば「この教会は、昼食で、繋がっているんだ」と独り言のように言っていて居られました。

どつていきたいのです。そしてそうすることで、同じ信仰に生きた河さんとのつながりを、主にあってこれからも保って行けたらと思うのです。

今年の1月4日、私が最後に河さんにお会いしたとき、帰り際に正子さんが、河さんが召された時のことを考えて、少し葬儀のことを口にされました。「主人は、とにかく前に向かって走り続けた人でした。病気になるっても、決して後ろ向きになることはなく、とにかく前を向いて走り続けてきました。だから、自分の葬儀のことについても

また、教会のカメラマンでもありました。礼拝で、様々な行事がある度に、大きな体に小さなカメラをかまえてシャッターチャンスをねらっていました。そして翌週、皆に楽しんで写真を配っていました。主にある豊かな交わりの記録を沢山残してくださいました。

2度の教会建築、そして隣接の土地購入に際して、河君は、本当に良く働かれ、会員全体の意向に気を配り、的確にリーダーシップを発揮されました。よく祈られてこそ、働きであつたと思います。

また、聖歌隊の練習では、河君の一声で皆が集まり練習を始めました。しかし、ほぼ毎回「河君ベースの音違いますよ」の私の注意に「ハイ、分かっています」の声で、全体が和やかになり、また河君もなんとなく嬉しそうに、大きな声でベースのパートを歌う。この流れもまた、いつも通りでした。

何も言い残していません。そうおっしゃっておられました。本当に、前に向かって進むことを徹底しておられたのだと思います。

河さんは、まさに地上のすべての歩みを走り通しました。壁にぶつかっても前を向き、病に冒されても前を向き、とにかく前進しつづけて、自分の生涯を完走されました。いまは、約束された神からの賞を受け取って、走り続けた自らを、主のみもとで休ませておられるのだと信じます。(告別式説教から一部抜粋)

数年前に、河幹夫さんが理事長の「島田療育センター」に、娘たちと音楽を届けに参りました。ホールに集まった沢山の方々と音楽のひと時を共有しました。その時の河幹夫理事長の嬉しそうなお姿が今も目に焼き付いています。

\* \* \*

坂井田廣子さんは国立音楽大学付属高校2年生の時に当時中学生であった河幹夫さんと出会い、以来58年にわたる信仰の友であり続けました。娘の坂井田真実子さんは国立音楽大学院(音楽科)を卒業後イタリア・ウィーンに留学、2015年帰国後2016年に視神経脊髄炎(国指定難病)を発症。真実子さんは病気を神様からのプレゼントとして受け取り「NPO法人 日本視神経脊髄炎患者会」を設立。その際も河幹夫さんが寄り添ってくださいました。真実子さんはその後リハビリを経て演奏活動を再開しています。

# おどる

堺・大阪・神戸・京都・東京

「故郷の家」各施設のホットな話題をお伝えします

※各施設のブログもご覧ください。QRコードからどうぞ！

## 迫力満点！節分の鬼

立春を控え、堺では壁画のような迫力満点の大きな鬼の絵が飾られていました。

そして節分の豆まき行事の日、まるでそこから抜け出てきたような体格のいい鬼が出現し万事休す！

でも、この鬼は心優しいので利用者さんと一緒に鬼の絵にボールを投げたり、記念写真に収まったりして、みんなで楽しい時間を過ごしました。

おやつ、鬼の顔ムースも大好評で、「可愛くて食べるのが可哀想～」と言いながら皆さん召し上がられていました。よい福が、たくさん来ますように…。



堺

## 旧正月のお祝い

1月29日(水)、一年の始まりを祝う韓国の伝統行事である旧正月のお祝いをいたしました。ご先祖様にお供えする料理を並べた茶礼床(チャレサン)の奥に屏風を、手前にはお酒や線香が整えられ、順番に拝礼していただきました。

今回堺では、お供えする料理の調理方法を神戸の朴施設長に教えていただき、当日の朝、職員が数品を手作りしています。これからもそれぞれの国の伝統行事を大切に、日々の生活の中に季節の彩りを取り入れてまいります。



▶チヨゴリを着て、お化粧されるご利用者様も



京都



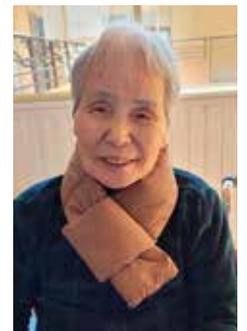
## クリスマスランチパーティーに大満足

毎年恒例となりましたクリスマスランチパーティーを4日間に

わたり開催しました。

ご利用者、職員もおしゃれな格好、クリスマスの装いで参加。いつもお世話になっている厨房の方々が、腕によりをかけて、クリスマスの特別メニューとして、豪華な料理を作ってくださいました。

各々好きな飲み物を持って、代表のご利用者の「乾杯！」の挨拶でクリスマス会がスタート。途中に、ボランティアの方のコーラス演奏やピアノ・ギター演奏のご披露やクリスマスソングや演歌の映像を見たりしながら、クリスマスランチを楽しみます。参加されたご利用者からは「おいしかったわ。」「大満足！」「毎日でもいいよ(笑)」などの声が聞かれ、たいへん喜ばれていました。



## あたたかなプレゼント ありがとう

駐大阪大韓民国総領事館より、クリスマスプレゼントとして、マフラー 100 枚寄贈していただきました。皆さん、たいへん喜ばれています。

ありがとうございました。

## 韓国餃子をつくりました

1月28日(火)、韓国のお正月の前日ということで、前夜祭と称してマンドゥ(韓国餃子)作りをいたしました。利用者さんに実際に作ってもらおうという企画です。

皮に具を乗っけてもらい、日本式ではなく韓国式で皮を包んでもらいます。それらを焼いたりあるいは蒸したりして、みんなで食べました。ご自分で作ったマンドゥはさぞかしおいしかったことでしょう。



## ニューイヤークンサート

1月30日(木)、ニューイヤークンサートを開催いたしました。出演してくださったのは小宅慶子さんと倉田ゆかりさん。小宅さんはケアハウスに入所されている魚井英子さんのお孫さんです。



小宅さんの高音の美しい素晴らしい歌声と、倉田さんの心に染み入る温かいピアノ演奏に、皆さん終始うっとりとして聴き入っていました。おばあちゃんの前で感動のパフォーマンスができたのか、いいでしょう。



## 東京



## ボールを投げて「鬼は外！」

豆の代わりにボールを投げて一年の健康を願う節分を行いました。参加したご利用者は全力で鬼にボールを投げ厄払いに臨みました。普段行事に消極的だったご利用者も節分を楽しまれている様子でした。



## 初詣に行きました

新年が明けて一年の願いを込め、近くの神社へ初詣に行きました。

参加したご利用者は寒い中ではありましたがお参りができたことをとても喜んでおられ、一年健康で過ごせますようにと願いを込めお参りをしました。



## 神戸

## 共生園（養護施設）

### キッズニア釜山：子どもたちの夢の舞台

小学生 23 名と引率教員 11 名でキッズニア釜山に行き、いろんな職業体験をしました。ハンバーガーやチョコレート、ラーメン作り体験のほか、銀行員、警察官、乗務員など様々な職業を経験し、子どもたちは楽しい時間を過ごしました。

中でも、運転免許取得体験やレゴカー組み立て体験が大人気でした。実在の企業が関わっているリアルな職業体験は、子どもたちの職業理解や適性発見に役立ち、気配りや社会性を育む貴重な経験でした。



## 共生再活院（知的障害者施設）

### 開院 40 周年記念「2024 年 夢見る人々のフェスタ」



共生再活院開院 40 周年記念式典が、地域社会の皆さんと楽しむ「夢見る人々のフェスタ」と共に行われました。

利用者家族、支援者、ボランティア、地域社会の来賓の皆様がご参加されたなか、尹基初代院長の温かい記念の挨拶に始まり、合唱やダンス、ファッションショーなどが繰り広げられました。来場者に深い感動や喜びを贈り、また参加したいイベントとなって幕を閉じました。共生再活院はこれからも地域社会と共に発展する施設となるよう努めてまいります。

## 木浦障害者療養院（重度障害者施設）

### 主は来ませり～！

2024 年のクリスマスのお便りです。12 月 21 日に支援者やボランティア、利用者家族の皆様をご招待してクリスマスイベントでお祝いし、喜びを分かち合いました。

支援者のコ・セヒョンさんがサンタに扮して、クリスマスプレゼントと一緒に笑いも届けてくれました。小さく弱い子どもの姿でこの世に生まれ、奉仕のお手本を見せてくださったイエス様のように、小さく弱い私たちですが、ここで互いを愛で支えながら生きていきます。



# 皆様のご支援に感謝申し上げます

2024年12月～2025年1月 寄付合計 23,842,511円

堺	310,395 円	京都	10,679,815 円
大阪	0 円	東京	1,211,825 円
神戸	10,089,675 円	法人	1,550,801 円

## 2024年12月～2025年1月の寄付者 (敬称略)

牧角 雅子 佐藤 美津子 福田 孝雄 木田 清人 瀧田 茂子 柳川 良子 大阪聖アンデレ教会 婦人会 レザンプトリスチン 修道院 ドミニコ会聖ヨゼフ 修道院 日本基督教団森小路 教会友愛会 日本キリスト教会大 阪姫松教会 ペン株式会社 在日本大韓国民団 兵庫県宝塚支部婦 人会 カトリック聖母奉獻 修道会 キリスト・イエズス の宣教会小野田修 道院 日本キリスト教会 福岡城南教会 カルメル修道院	日本基督教会福島伝 道所 小堀 芳裕 菅野 俊美 木下 雅夫 大友 陽子 岡本組株式会社 林 光行 安封 秀子 佐藤 隆一、博子 大澤 勝哉 四宮 章夫 岡 真由美 本河 みぎわ 神谷 尚孝 森田 光明 小林 四郎 松井 政男 中野 敏彦 観寺 伊津美 柳 律子 宮田 光雄 株式会社スポーツ寿 苑 代表取締役社長 苑 貞子 藤原 興 多胡 元喜 高山 きを子	樋口 恵子 在日大韓基督教会 小倉教会 宗教法人日本バプテ スト連盟 大阪中 央バプテスト教会 上石 隆雄、史子 安部 能成 佐藤 重之 在日大韓基督教会京 都教会 匿名希望 松本 真理子 日本キリスト教団明 石教会 田内 緑 白方 誠彌 阿部 治利、寿子 田中 茂太郎 宋 勇 永野 慎一郎 宮原 智文 長田 彰文 森田 信也 野田 隆徳 青木 茂 富士吉田キリストの 教会	池田 利昭 柴田 米実 角替 豊 特定非営利活動法人 金ヶ崎支援機構 理事長 山田 實 岡野 和子 福西 由紀子 株式会社ユニティー・ワ ン 王 寛一、蔡 福美 在日大韓基督教会神 戸教会 松本 光恵 多田出 佳代子 村田 裕子 羽鳥 美代子 単立キリスト教八街 グレイス教会 光 鉦錫 光成 千比呂 新檜尾台校区 連合自治会 オートプロ島田 島田 隆男 株式会社サンビル ダー会長 柚 浩二 辻 康子 浅野 和子	李 守陳 李 善恵 ながやま歯科 院長 永山 成大 門川 大作 竹口 等 中村 啓子 藤田 裕之 金原 正一 藤原 一臣 星田 正雄 桂 豊 長谷岡 範子 金氏高麗人参株式会社 鈴木 仁 新井 伶子 小西 孝蔵 品川 清子 姫路ビジョン教会 上岡 義隆 箭野 信敏、京子 栗原 彬 大木建設株式会社 東京建築支店 株式会社ヤマエン タープライズ 代表取締役 池 正淑	徐 鍾煥 高須 俊明 柳 謙二 「ハートサービス運 動」募金箱 高 弘 枝川 愛の教会 有限会社テララ貨物店 POSCO JAPAN株式会社 光キリスト教会 牧師 山崎 健一 株式会社グローバル 代表取締役 川島 忠義 松下 令子 大下 美智子 児島 隆子 紅林 すみ江 堺募金箱 堀口 眞貴子 佐藤 友美 鄭 智子 井上 明美 故郷の家東京 募金箱 林 竜弘 故郷の家神戸募金箱 瀧澤 織衣	故郷の家京都募金箱 株式会社ジェイ・ ティー・プランニ ング 代表取締役 柳川 直基 左藤 浩子 栄山 英太郎 竹井 光江 日向 康夫 和音情 POSCO INTERNATIONAL JAPAN株式会社 澤田 和代 平田 由紀子 門川 都 黒岩 共一 宮本 春子 田 允詰 カトリック コットンネ大学 宮本 浩吉 武内 一 門口 美千代 日本聖公会 大阪教区 川口基督教会 牧師 柳 時京
---	---	---	--	--	---	--

## 2024年12月～2025年1月の寄贈者 (敬称略。すべての方のお名前を記しているわけではありません。ご了承ください)

■故郷の家(堺) 野町 恒子ご家族 竹井 光江ご家族 山崎 世律子ご家族 柳 嘉子ご家族 松浦 運枝ご家族 山本 耕一ご家族 板谷 専一郎ご家族 松葉 恵美子ご家族 青木 八千代ご家族 辻 ナル子ご家族 田中 キノエご家族 グリーンスタイル 社会医療法人ベガサ ス 馬場 武彦 ゆかわ歯科 長吉地域包括支援セ ンター あゆみ介護センター 永山歯科 永山 成大 錦秀会 福祉部 金 基周 黒田 研二 功德院りすシステム	松島 如戒 松島 龍戒 ■故郷の家・神戸 ファーストリネン 中田 康子 浦井 八重美 羽谷 宗一ご家族 木村 勝利 大村 春子ご家族 村上 順子 川嶋本店 サランの会 前会長 松本 潮川 マツご家族 平安祭典 ファミタンタン 野口 ミチエご家族 韓国 仁川海岸教会 金 泰淑ご家族 氷室 悦子ご家族 中村 美佐子ご家族 新本 慶子ご家族 ダイキチカバーオール	青田 進 津田 智恵子 総領事 李相烈 テストイバル(株) 成 奉順ご家族 松下 裕夫 酒部 和子ご家族 藤田 チエコご家族 井上 ひとみ 民団西神戸支部 朴満里子 ■故郷の家・京都 (医)同仁会 赤井 美和子ご家族 正木 清子ご家族 仲尾 千鶴子ご家族 田中 つよご家族 星 保子ご家族 高畑 ますみご家族 利川 貞子ご家族 伊原 珠枝ご家族 マリオン薬局 栗原 美代子ご家族	公益社 松本 浪子ご家族 (株)近建ビル管理 南 奇順ご家族 (株)シテイライフサー ビス 的場 みち子ご家族 (株)テストイバル 大原 淑子ご家族 (株)ダイキチカバー オール 柳 祝男ご家族 (医)同仁会 理事長 松井道宣 松本 花子ご家族 吉田 久美子 中村 京子ご家族 (株)エコロジカルプレ ゼンツ 白川 百余ご家族 駐大阪大韓民国 総領事館 野田 頼子ご家族 青い鳥鍼灸治療院	伊藤 喜美ご家族 門川 大作 林 順子ご家族 坂本 信一ご家族 星山 晃子ご家族 大橋 一美ご家族 宮本 春子ご家族 権 森子ご家族 伊東 光子ご家族 安東 千代子ご家族 南 賀恵ご家族 金井 馨永ご家族 田中 泰一ご家族 嘉門 和美ご家族 山内 エミ子ご家族 押海 順子ご家族 木村 文子ご家族 松田 耕一ご家族	市川 春代ご家族 播磨 祐豪ご家族 河村 吉郎ご家族 小澤 春江ご家族 平松 節子ご家族 芳賀 初子ご家族 新井 佳子ご家族 木村 米子ご家族 神田 英資ご家族 金 淑貞ご家族 南 公恵ご家族 金 基哲ご家族 寺澤 ヒサエご家族 川崎 民枝ご家族 東 公平ご家族 權 再南ご家族 島田 たきのご家族 小山 はつるご家族 佐藤 那可子ご家族 民野 和子ご家族 關谷 敏郎ご家族 信 栄子ご家族 姜 順子ご家族 肥沼 トミ子ご家族	松島 れい子ご家族 今井 康子ご家族 金 永愛ご家族 まごころ屋 医療法人社団修世会 木場病院 大井田院長 平安祭典 部長 山本 幸雄 Ohana治療院 金 高 医療法人社団江翔会 ekoデンタルクリ ニック理事長 高垣 江津子 社会福祉法人 こころの家族 事務局長 松下良平 故郷の家・神戸 施設長 朴正米 株式会社トーカイ 東京東部教会 鄭牧師 国立国語研究所
---	---	---	---	--	--	---

## 2024年12月～2025年1月の来訪者・ボランティア (敬称略)

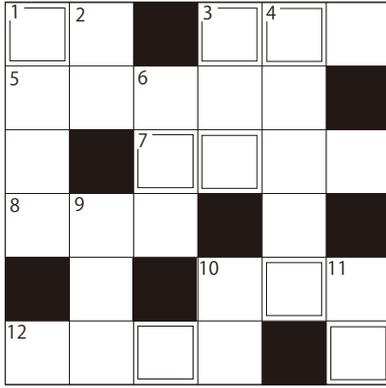
■故郷の家(堺) 泉北恵み教会 松本 光恵 小田 ヒターナ	関 京子 民謡 欣秀会 戸田 和子 神戸教会 有吉 秀子 河 蓮紅 呉 静子 金 文子 山本 公一	■故郷の家・京都 倉 正根 河 礼子 小林 栄一 岩崎 友美子 岩本 さおり 山本 なを 京都シオン一同	(以上クリスマスラ ンチパーティー) 「懐メロ聴くの会」 3名(カラオケ) 金一志韓国伝統芸術院 (韓国のお正月) めぐみ教会 13名 (クリスマス讃美)	京都PANAL-ALC 3名 (傾聴ボランティ ア) SKY傾聴ボランティ ア1名(傾聴ボラン ティア)	■故郷の家・東京 中島 榮美(生け花) 枝川愛の教会 趙牧師 ヤンセホ エリザベス・ロウ
--	---	---	--	---	--

# ◆ クロスワードパズル ◆

※前回の答えは「年賀状」でした。

【ヒント＝歌詞が難しい?】

二重マスの文字を組み合わせて  
できる言葉を書いてください。



- ① 就任前から世界中をハラハラ(?)させてきた大統領。  
② 「」は身を助けた大統領。  
③ ねたまこと。  
④ 悪い評判。  
⑤ 東南アジアの国の一つ。  
⑥ 英語で「線」のこと。  
⑦ 「」を残さないようにしたいものですね。  
⑧ ソウやセイウチには大きなのが…。

## ↓ タテのカギ

## → ヨコのカギ

- ① きれいなバラには——がある。  
⑤ 春に、紫や白の花を咲かせます。別名リラ。  
⑦ 竜宮城に行けば会えるらしいです。  
⑧ マイナス ← → ——。  
⑩ これがないと人間は生きていけません。  
⑫ ウエルカム!

## ● プレゼント ●

正解者の中から3名さまに、鮮やかな色使いが楽しい韓国製小銭入れをプレゼントします。

応募は、クロスワードパズルの答、住所・氏名・電話番号をお書きのうえ、はがきなら〒590-0142堺市南区檜尾3360-12「故郷の家・クイズ係」へ、メールでの応募は news@kokorono.or.jp へどうぞ。4月10日締め切り。



本誌をお読みになった感想、メッセージなどもどうぞお書き添えください。お待ちしております!

## 「故郷の家」では共に働く仲間を募集しています!

「すぐに辞める」と思いながら、仕事を始めると意外にも「ご利用者さんと過ごすのが楽しくて楽しくて」あっという間に9年が経ちました。(生活相談員のTさん=今号4ページに登場)



- ◆ 人と地域に寄り添う、心温まる仕事です
- ◆ 文化的なプログラム(行事)も豊富で楽しい職場です

**施設見学 随時受け付け中です!**

お問い合わせ先:大阪府堺市南区檜尾3360-12  
法人本部事務局 松下宛

TEL:072-271-0881 FAX:072-271-5474

メールアドレス:honbuzimukyoku@kokorono.or.jp

## 共に希望に生きる

人は、誰しも懐かしい思い出に満ちたふるさとをもっている。ふるさとは、生まれ育った所であると同時に「帰る」所であろう。人生の喜びと悲しみ、栄光と重荷を背負って帰り着くところがふるさとであれば、なんと素晴らしいことではないか。そこでは、経験を分かち合い、共に希望をもって生きることができる。(阿部志郎・神奈川県立保健福祉大学名誉学長)

## こころの家族のサポーターになってください

- A) 愛の寄付金 ..... 自由な金額
- B) 遺贈寄付 ..... 自由な金額
- C) 相続寄付 ..... 自由な金額
- D) 賛助会員 ..... 月1,000円(年1万2千円)
- E) 奨学会会員(留学生や孤児・障害児支援) ..... 月5,000円(年6万円)
- F) 1%会員(所得、売上、祝儀、遺産、感謝)
- G) 1坪会員(施設の新築・改築や環境改善支援) ..... 30万円

## ご送金の方法

- 郵便振替 □座番号: 00940-0-329280  
加入者名: 社会福祉法人こころの家族
- 銀行振込 銀行名: 三菱UFJ銀行  
支店名: 光明池支店 普通 1052623  
口座名義: 社会福祉法人こころの家族

お気軽に  
お問い合わせ  
ください。

故郷の家のご利用相談や  
寄付。困っている高齢者、  
留学生、外国籍の方も

■ 故郷の家(堺) 辻野やす子(施設長)  
大阪府堺市南区檜尾3360-12 TEL 072-271-0881  
ブログ <http://kokyosakai.blog40.fc2.com/>

■ 故郷の家・大阪 田中久美子(主任ケアマネ)  
大阪府大阪市生野区中川2-4-26 TEL 06-6753-6580  
ブログ <http://kokyoosaka.blog79.fc2.com/>

■ 故郷の家・神戸 朴正米(施設長)  
兵庫県神戸市長田区東尻池町7-4-21 TEL 078-651-1555  
ブログ <http://kokyokobe.blog40.fc2.com/>

■ 故郷の家・京都 藤原一臣(特養施設長)、金滋榮(ケアハウス施設長)  
京都府京都市南区東九条南松ノ木町47 TEL 075-691-4448  
ブログ <http://kokyokyoto.blog41.fc2.com/>

■ 故郷の家・東京 高橋千津子(特養施設長)、塩川優子(ケアハウス施設長)  
東京都江東区塩浜1-4-48 TEL 03-3644-0555  
ブログ <http://kokyotokyo5.blog.fc2.com/>

**本法人は統一教会とは関係ありません**

